

香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

社会科副読本「わたしたちのまち香美町」が新しくなりました

社会科副読本は教科書を補助するための教材で、小学校3・4年の社会科授業で自治体の仕組みなどについて学習する際に使用します。

町教育委員会では、「香美町ならではの副読本」を用いることで、児童に「まちの将来」を考える機会をもってもらうとともに、社会科学習をさらに充実させるため、町教育研修所小学校社会科副読本編集委員会を中心に、2年間にわたって内容を検討し、このたび新しい副読本を作本しました。



地域に根ざした教育

副読本には、本町の豊かな自然環境をはじめ、地域に根ざした人々の暮らしや伝統、文化、産業のほか、但馬牛のルーツを生み出した前田周助のような地域の発展に尽力した先人の物語など、本町に関するさまざまな内容を掲載しています。

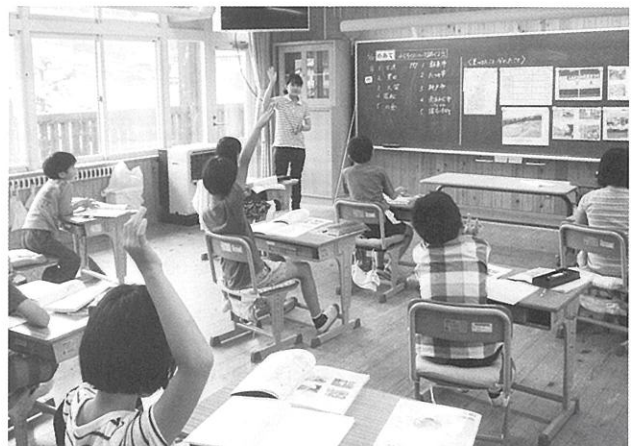
6月27日、村岡小学校3年生の社会科の授業「町の様子について知ろう」という単元で初めて新しい副読本が登場しました。

自分たちの暮らす町の様子が載っている副読本に「この商店街は見たことがある」、「おばあちゃんが生まれた地区のことが書いてある」と興味津々で見入っていました。そして、副読本を使い、教科書の内容を自分が住んでいる地域に置き換えて考える授業によって、児童たちはさらに本町への理解を深めている様子でした。

こうした学びにより、児童たちの「ふるさと」に対する愛着が高まるとともに、夢と希望に満ちた「香美町の将来」を力強く切り拓いてくれることが期待されます。



▲授業で新しい副読本が紹介されました



▲副読本を使った授業の様子